

柳井発電所2号系列リプレース計画に係る環境影響評価方法書に対する知事意見の概要

項目	主な意見
【全体的事項】	
	<ul style="list-style-type: none"> ○カーボンニュートラル実現に向けた温室効果ガスの削減目標と本事業との整合性を本事業者の他施設の取組も合わせた上で可能な限り具体的に示すこと ○関係自治体、地域住民からの意見等を踏まえ、適切な手法の選定に努めるとともに、環境影響が回避、低減されるよう適切な環境保全措置を検討すること ○準備書では、新2号機の発電設備の諸元等について、他の計画や既存施設と比較するなど効果的に示すこと ○関係自治体や地元住民、漁業者等に対して、環境影響について積極的な情報提供や丁寧な説明を行うこと
【個別的事項】	
大 気 質	<ul style="list-style-type: none"> ○資材の搬出入のルート及び手法並びに施設の稼働の特性に応じた丁寧な調査、予測及び評価を行い、必要に応じて適切な措置を検討すること ○光化学オキシダントの発生抑制に係る最新の科学的知見の収集に努め、適切な対応を検討すること
水 環 境 海生生物	<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動の影響で海水温の上昇や海生生物の生息・生育環境が変化している可能性があるため、温排水による海生生物への影響を評価する際は、丁寧な調査、予測及び評価を行うこと
動 植 物 植 物	<ul style="list-style-type: none"> ○残土の仮置き場等として敷地を利用する場合は、動植物の重要な種の生息・生育場所の回避等、必要な環境保全措置を検討すること
景 観	<ul style="list-style-type: none"> ○柳井発電所は柳井市の主要な景観資源であることから、身近な視点場も調査地点に選定した上で、適切に調査、予測及び評価をすること ○予測・評価に当たっては、煙突のみならず、発電所内に新たに設置する施設・設備全てについて周辺環境との調和を検討すること
廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物及び建設発生土について、その発生抑制及び再資源化を具体的に検討すること ○廃止する施設を撤去しないことから、周辺環境に影響を与えることのないよう、存置する間の維持管理を適切に行うこと
温室効果 ガ ス	<ul style="list-style-type: none"> ○利用可能な最良の技術の選定に努め、二酸化炭素排出量の更なる低減を目指すこと